

## 令和3年度 熊本信愛女学院中学高等学校 学校自己評価表

令和3年度、本校は以下のような目標・方策をもとに、教育活動を実施しました。

※評価はA・B・C・Dの4段階

A：達成できた    B：ほぼ達成できた    C：あまり達成できなかった    D：達成できなかった

教育目標	カトリック精神を基盤とする幼きイエズス修道会の教育理念に基づき、生徒の全人格的開発を目指す。 一人ひとりが主体性を確立し、それぞれの可能性を最大限に伸ばして、自己形成を図ると共に、女性としての豊かな心をもって、社会の建設に貢献する人間を育成する。	総合評価
年度目標	1 一人ひとりの進路実現 2 グローバル人材の育成 3 規律ある生活態度の育成	B

	具体的目標	具体的方策	評価			総合評価
			1	2	年間	
宗教部	校内の宗教的環境の整備の徹底	教室掲示標語「月の言葉」	B	B	B	B
		聖堂の管理と学校内の宗教的環境作り	B	B	B	
		昼休み後、5分の黙想の習慣化	A	A	A	
	宗教行事（聖母祭、新入生ミサ、学院慰霊祭、点灯式、クリスマスミサ、聖劇、キャロリング、卒業生ミサ など）	コロナ禍で学院ミサができない時は放送を通して各教室でみ言葉の祭儀、又は、学年を分けての学院ミサを実施する等の工夫をする。	B	A	A	A
		コロナ禍で体育館での聖劇ができない時は、放送での「クリスマス朗読劇」を行う。また、クラス全体で参加できる「アドベントコンテスト」を後援会にお願いし協力していただく。	B	A	A	
	学校全体で支援している、チャイルドファンドジャパンの2人の里子への募金。チャドなどへの募金	行事に向けての募金活動、トラピストクッキー販売の収益金での募金集め	A	A	A	A
チャイルドファンドジャパンの2人の里子、海外の貧しい子ども達への支援		A	A	A		
新教育課程の編成	国語・地歴・公民の編成に注意する	B	B	B	B	
	全体のバランスを考慮する	B	B	B		
	大学入学共通テストの動向を考慮する	C	C	C		

教務部	年間行事の実施(コロナ感染拡大防止を踏まえて)	入学式・卒業式の円滑な実施	B		B	B	B
		体育祭・文化祭実施	C	C			
		合格者招集・新入生オリエンテーション	B		B		
	校務支援システムの円滑な導入	書式の変更に伴う混乱の防止	C	C	C	C	
		人的ミスの回避	B	C	C		
		運用全般のトラブル回避	C	C	C		
生徒指導部	規律ある生活の徹底	制服、髪型など身だしなみの徹底	B	B	B	B	
		挨拶などの徹底	B	B	B		
		定期的な生活検査と、事後指導の徹底	A	A	A		
		全校朝礼・終礼、または放送などによる生活全般における諸注意	A	A	A		
	いじめの防止	毎学期のイジメアンケート	A	A	A	A	
		イジメアンケートの結果による早期の対応(学校全体の取り組み)	A	A	A		
		全校朝礼・終礼、または放送などによるイジメ防止の啓発	A	A	A		
	交通事故の防止	日頃からの交通指導の徹底(歩行・自転車などのマナー)	A	A	A	A	
		警察からの情報を適宜、生徒へ知らせる	A	A	A		
	防災意識を高める	日頃からの防災に対する意識付けの徹底	C	B	B	B	
		定期的な避難訓練の実施(2学期)※新型コロナ感染防止の観点から中止	/	/	/		
	体系的な進路指導の推進	受験対策としての課外及び高校3年生(共通テスト対策・個別試験)対策授業を継続して実施する。	A	A	A	A	
校外模試・小論文指導・面接指導を企画・立案し実施する。		A	A	A			
2021年度大学入試情報収集と分析による、高3進路検討会及び高1,2模試分析会。		A	A	A			
大学説明会・職業講話・進路講演会などを計画・実施し、生徒の進路目標が明確になるように努める。		A	A	A			

進路指導部	進路実現に向けての+αの学習や校外活動参加の促進	受験校決定や教職員間の情報共有のため学年団との会議を定期的に行う。	A	A	A	A
		第一志望を大切にする進路指導（面談週間・文理分け説明会等）	A	A	A	
		大学入試改革に向け、学内外での活動を活動履歴（プロセス・気づき・振り返り）にまとめる。	A	A	A	
		学習に対する意識を高めるため、毎日の学習時間を(CHALLENGE CHANGE)に記録させ、1週間ごとに提出させる。	A	A	A	
		国公立大学医学部医学科志望の生徒に対する指導の強化	C	C	C	
		九州大学の魅力を伝えるために、高校1年生での九州大学訪問。	/	/	/	
生徒・保護者に対する進路情報の積極的提供	進路資料（1号・2号）・進路速報などを作成し、生徒・保護者に向けて進路に関する様々な情報を迅速に伝える。	A	A	A	B	
	進路資金講演会、保護者向け文理分け説明会、大学入試改革説明会を実施する。	B	B	B		
広報部	適切な役割分担と組織運営	年度の実態に応じ、課題確認と業務の改善に努める。	B	B	B	B
		校務全体の円滑な推進のため、職員間の密な連携を図る。	B	B	B	
		業務記録、資料保存に努める。	A	A	A	
校内での進路や行事に対する取り組みを積極的に広報活動に活用し、志願者層の質と量の確保に努める。	学校案内、ポスター、チラシ、広告（新聞、雑誌等）、インターネットなど様々な媒体を通じた広報活動の充実と各中学校・塾に対するきめ細かい対応を心掛ける。	A	A	B	B	
	各科コースの活動内容、実績、特色について、より具体的に明示し、志願者増（特に専願）へつなげる。	B	B	C		
	中学校・塾・個人宛の郵送物は計画的に準備し、迅速に対応することを心掛ける。	A	A	B		
		生徒の実態や自校の教育課題をふまえ、全教職員による校内研修会を行う。	B	B	C	

研修部	研修体制の確立と実践	授業研修を充実させ、見学等の機会を設け、教育実践の向上を図る。	C	C	C	C	C
		校外での研修を受ける体制を整え、全教職員が積極的に校内研修に参加し、自己の成長を促す。	C	C	C		
普通科特進コース	学習時間を十分に確保できる生活習慣の確立	学習記録の記入・提出をさせ、学習状況をふりかえらせる。	A	A	A	A	A
		生活・学習改善が必要な生徒には、助言・支援を行う。	A	A	A		
		短・中・長期目標を設定させ、達成に向け計画を立てさせる。	A	A	A		
	大学受験に対応できる学力の育成	予習、復習の徹底。個々に応じた添削指導。	A	A	A	A	
		課外を充実させ、必要に応じて適宜補習を行う。	A	A	A		
		外部模試を活用した学力分析を行い、教科のバランスを確認し弱点对策を早めに行う。	A	A	A		
		共通テストを全員が受験する	A	A	A		
	自分らしい社会貢献の模索	生徒との信頼関係を構築し、生徒理解に努める。	A	A	A	A	
		適宜二者面接を行い、教育相談等を通して、生徒の生き方を共に考える。	A	A	A		
		「どう生きるか」将来につながる進路指導を行う。	B	A	A		
		ボランティア活動への積極的な参加を通して、社会が抱える問題に目を向けさせる。また、幅広い分野から外部講師を招き、進路講演を行う。	B	B	B		
	国公立大学、難関私立大学への合格実績	九州大学以上合格者 2名以上	/	/	B	B	
		熊本大学合格者 10名以上	/	/	C		
		国公立大学合格者 20名以上	/	/	A		
	1. 落ち着いた学校生活 基本的な生活習慣を身につける。	挨拶の徹底、服装・髪型をきちんとする	B	B	B	B	
教室の整理整頓		B	B	B			
遅刻・欠席者を減らす（遅刻者カード活用）		A	A	A			

普通科普通コース		保護者との連絡を密にとる	A	A	A		A
	2. 基礎学力の定着と向上 自主的な学習習慣を身につける。	1年次英語、数学の習熟度クラス編成。	A	A	A	A	
		授業に集中させる工夫	B	A	A		
		課題等提出物の徹底	A	A	A		
		課外や添削等、個別の指導の充実	B	B	A		
	3. 生徒の個性を見極め、上級学校への進学を目指した進路指導。グローバル時代の要請に応じた国際理解教育の実施。	1年次、大学や職業について調べ学習・発表、特別授業等	A	A	A	A	
		2年次、小論文対策。本校での大学説明会（進路部主催）	A	A	A		
		英検、GTECなどの検定試験推奨と対策 オンライン英会話の導入	A	A	A		
		受験に対する生徒・保護者向けの説明会（文理分け含む）	A	A	A		
	4. 生徒会活動、ボランティア活動、部活動への積極的な取り組み。	生徒会活動への積極的な参加	A	A	A	A	
ボランティア活動への積極的な参加		B	A	A			
情報ビジネス科	5つの凡事徹底	気持ちのよい挨拶と返事	B	B	B	B	
		遅刻・欠席をしない	C	C	B		
		提出期限と手続きの厳守	C	B	B		
		時間厳守と5分前行動	C	B	A		
		教室の整理・整頓	A	B	A		
	コミュニケーション能力の育成	相手の話をきちんと聞く	B	A	A	B	
		わかりやすく伝える	C	C	C		
		他の人に働きかける	C	C	C		
	基礎学力の向上	生活時間ノートの活用	B	B	B	B	
		課題や提出物の精度を高める	C	B	B		
進路実現の手立て	進学指導	B	A	A	A		
	就職指導	B	A	A			

		保護者向け情報発信	A	A	A		
高校 1学年	挨拶が出来るように する	教師からも挨拶を行い気軽に生徒に声掛けを する。	B	A	A	B	B
		授業の始まり、終わりのお辞儀（教師が間を 取って支援する）	C	B	B		
	計画的な行動をする	行事・ボランティア活動・部活動などに参加 し、良いところを探し支援する。	B	A	B	B	
	科・コースの目標達成 のために長所探し を行う	担任・副担任（教科担当者）によるアドバイ スを色んな角度から支援を行う。	B	B	A	B	
高校 2学年	基本的な生活習慣の確 立	Challenge Changeノートを活用して、起床・ 学習・就寝時間の固定を基盤に自己管理能力 を身に付ける。	A	A	A	A	A
		きまりやマナーを意識した学校生活を送ること で、自律心と規範意識を養う。	A	A	A		
	主体的に学習に取り 組む態度の育成	Challenge Changeノートを活用して、計画的 な学習習慣を身に付ける。	A	A	A	A	
		授業中心の学習リズムを確立し、苦手教科と 向き合い、克服する姿勢を身に付ける。	B	B	B		
	進路意識の高揚	二者面談を充実させ、本人の希望を聞き出し て整理することで気づきと自覚を促す。	A	A	A	A	
		進路目標を明確にすることで、その実現に向 けて向上心を持って努力する姿勢を身に付け る。	B	B	B		
リーダーシップと フォロワーシップの 育成	集会やLHRなどを利用して集団行動を含めた 学年行事の機会を多く設け、学年意識と連帯 感を強める。						
	生徒会活動や体育祭、修学旅行などの学校行 事やボランティア活動を通して、互いに認め 合い、高め合う関係を築く。						
		学習習慣の確立	B	A	A		

高校 3学年	進路指導	基礎学力の充実と得意科目の伸長	B	B	A	A	A	
		自分の考えをまとめ、述べる訓練を行う	B	A	A			
		隙間時間の積極的活用	A	A	A			
		自らの進路について深く考えさせる	A	A	A			
		的確な情報発信	B	B	A			
		成績上位者・成績下位者への指導	B	A	A			
生活指導		基本的な生活習慣の確立	A	A	A	A		
		遅刻・欠席・欠課・早退を減らし、皆勤を増やす	B	B	A			
		スマートフォン等のマナー育成	A	A	A			
中学校	基本的な生活習慣の確立	毎日元気に登校するために、規律ある生活を意識させる。	A	A	B	B	B	
		挨拶、清掃、時間厳守、授業集中の重点項目の指導の徹底	B	B	B			
		面談、スコラ手帳、一週間の振り返りシートなどを活用し、生活指導の充実を図る。	B	B	B			
	基礎力充実に重点を置いた教科指導		授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて家庭学習による主体的な学びを習慣化させる。	B	B	A		A
			課外授業の充実	A	A	A		
			ICTを活用した授業支援のための環境整備	B	B	B		
	日常生活、行事、ボランティア活動を通じての人間形成		朝終礼での祈りや授業前の黙想を通して、自己と向き合うことを習慣化させる。	A	A	B		B
			宗教行事、ロザリオの祈りを通じて、祈る心を養う。	A	A	B		
			全校で地域清掃ボランティア等に取り組む。	B	B	B		
	生徒会活動を通じての自主性の養成		常任委員会活動の活性化	B	B	B		B
			生徒会が企画する活動が、生徒の主体性や統率力、協調性を育む場になるよう、支援的な指導を行う。	B	B	B		

	総合学習を通じての国際文化理解と円滑な人間関係を図る	野外活動や学習発表会を通して、自他のつながりの大切さを知りよりよく成長する場になるよう、支援的な指導を行う。	B	A	B	A	
		総合学習の授業では、諸外国の文化や習慣を尊重し、理解することを主眼にし、異文化理解力の向上を図る。	B	A	A		
保健室	基本的生活習慣の確立	不調の原因と改善方法を、生徒自身が考えられるように支援する。	C	C	C	B	B
		生徒の様子について、担任と情報交換を行い、必要な場合は、家庭への連絡を依頼する。	B	B	B		
		保健だよりに、生活習慣について掲載する。	B	B	B		
		修学旅行前に、生活習慣について指導する。					
	定期健康診断の円滑な実施	学校医や、学校歯科医、関係機関等との打ち合わせを綿密にする。	B		B	B	
		実施時に、感染症予防対策を行う。	A		A		
		実施方法について、職員へ周知する。	B		B		
		心臓病や腎臓病等で定期受診中の生徒へは受診を促し、また、受診結果の提出を求める。	A	A	A		
	個別支援の充実	担任との情報交換を密にし、連携して対応にあたる。	C	C	C	C	
		保健室では、体調面だけでなく精神面も考慮した問診等を行い、必要に応じて面談を行う。	B	B	C		
		月に1回、校内支援委員会を実施する。	B	A	B		
		必要に応じてSCやSSWへつなぎ、状況の把握と改善に努める。	C	C	C		



## 令和3年度 熊本信愛女学院中学高等学校 学校評価

◎学校生活について、生徒及び保護者へのアンケート結果

①非常にそう思う	②だいたいそう思う	③あまりそう思わない	④全くそう思わない
----------	-----------	------------	-----------

※生徒による評価	①	②	③	④
1 熊本信愛女学院で学ぶカトリック精神が、日々の生活に生かされている。	62.3%		28.2%	
2 礼儀やマナーを重んじる教育が行われている。	83.5%		12.1%	
3 落ち着き、集中して授業に取り組める環境である。	79.7%		16.1%	
4 それぞれの学年で将来を見据えた進路学習・指導が行われている。	73.8%		18.3%	
5 熊本信愛女学院に入学して良かった。	68.5%		24.4%	

※保護者による評価	①	②	③	④
1 熊本信愛女学院で学ぶカトリック精神が、日々の生活からうかがえる。	66.1%		24.0%	
2 礼儀やマナーを重んじる教育が行われている。	90.5%		6.2%	
3 落ち着き、集中して授業に取り組める環境である。	84.2%		9.4%	
4 それぞれの学年で将来を見据えた進路学習・指導が行われている。	78.7%		15.0%	
5 熊本信愛女学院に入学させて良かった。	85.3%		8.1%	

## 令和4年度 学校評価アンケート分析

令和3年度も、コロナウイルス感染症の影響が大きく、文化祭は規模を縮小して実施できたものの、聖母祭・体育祭・修学旅行等の主な学校行事が実施できないままであった。生徒たちにはやや物足りない学校生活であったかもしれないが、「礼儀やマナーを重んじる教育が行われている」「落ち着き、集中して授業に取り組める環境である」の評価は生徒、保護者ともに高く、カトリック精神に根差す、122年の伝統に裏打ちされた熊本信愛女学院の教育活動が揺るぎのないことを証している。今後もこれらを基盤にして、「それぞれの学年で将来を見据えた進路学習・進路指導」をキャリア教育の観点からも効果的に実施して、生徒それぞれの進路保障に力を入れながら、「熊本信愛女学院に入学して良かった・入学させて良かった」の項目がますます高まるように努めていきたい。

### 学校評価委員からの意見

○学院の伝統である教育精神（礼儀、マナーなど）がしっかり継承されていることを嬉しく感じました。そのことは、学校改善のためのアンケート（各学年）にもでています。これからも、新しい時代に必要となる知識や技能を身につけてほしいと願っています。

○礼儀やマナーの大切さについて、生徒も保護者もよくわかっているので、高評価を得られていると思います。「信愛は厳しい」というレッテルはなかなか消えませんが、生徒たちの姿がだんだん美しくなっていくのは、この学院での教育があるからだと思います。

○熊本信愛女学院の基本的な姿勢は、カトリック精神に基づいたもので、ボランティア精神、つまり相手を敬う心を育てることにあると思います。その精神の基で、礼儀やマナーを重んじてきた学校です。例えば、挨拶や清掃も伝統として受け継がれています。卒業生の中にはこの精神が社会に出て、または親になって、いろいろな所で、生かされていると感じている人がほとんどだと思います。この精神は高校卒業後、就職した生徒たちの中にも多く見られます。例えば、ペーパーテスト（採用試験）の終わりに、机上の消しゴムのくずをそれとなくチリ紙で取り、ポケットにしまう姿を見たことが採用の決め手になったとか、採用後に会社での挨拶の表情や仕事に取り組む姿勢が良いとか、トイレ等の清掃も他の学校の生徒たちよりも自然にやってくれているといったことを企業側から耳にしました。このことを卒業生（在校生も）や及び保護者にはわかってもらえると思いますが、世間一般には信愛のことを知っている人たちはほとんどいません。ましてや公立中学校の生徒たちも言うまでもありません。そこで提案ですが、外に向けたボランティア活動を盛んにするのはどうでしょうか。それらの活動を通して、信愛のボランティア精神を世間の人たちが理解するようになると思います。

○「熊本信愛女学院に入学して良かった」には、生徒・保護者ともに高い評価がなされているが、各学年低評価の数も一定数あることは考えるべきことだと思う。

○コロナ禍の中で「入学して良かった」「入学させて良かった」とは、どこの学校に行ったとしても、十分感じられないと思いますが、保護者の評価は高く、安全・安心な学校という印象はあったのだと思います。

○こここのころ生徒たちはコロナウイルスの影響で、思春期の一番大切な時期にいろんな活動が制限されてとても残念だったと思う。